



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月14日

上場取引所 東

上場会社名 ITbook 株式会社

コード番号 3742 URL <http://www.itbook.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼 CEO (氏名) 恩田 饒

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 山口 成一

TEL 03-6435-8711

四半期報告書提出予定日 平成27年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	402	29.5	△133	—	△135	—	△137	—
27年3月期第1四半期	310	45.8	△59	—	△60	—	△68	—

(注)包括利益 28年3月期第1四半期 △137百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 △68百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△8.66	—
27年3月期第1四半期	△4.32	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	1,022	294	28.8
27年3月期	1,285	444	34.6

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 294百万円 27年3月期 444百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,042	47.1	△75	—	△79	—	△92	—	△5.81
通期	2,842	41.8	234	70.5	225	60.2	174	68.0	10.96

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	15,902,600 株	27年3月期	15,902,600 株
28年3月期1Q	38 株	27年3月期	38 株
28年3月期1Q	15,902,562 株	27年3月期1Q	15,902,568 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀による金融緩和により、円安・株高の傾向が続き、企業業績の改善や雇用情勢の好転が見られるなど、緩やかな回復基調で推移しました。

当社グループが事業領域とする情報システム業界におきましては、企業収益の改善を背景に老朽化システムの更新など、IT投資に前向きに取り組む企業は増加しており、マイナンバー対応を含め、企業の経営及び業務改善に直結するシステムへの投資に力強さが見られ回復傾向にあります。

このような環境のもと、当社グループは、成長力の高い企業集団を目指し、優秀な人材確保と、営業活動や提案活動を積極的に行い、受注拡大に注力してまいりました。

さらに、平成27年4月には、株式会社プロネットの全株式を取得し連結子会社といたしました。今後は、当社のコンサルティング力と株式会社プロネットの金融系システム開発力により、金融関連事業を強化し、当社グループのシステム開発事業において、シナジー効果により事業拡大を図ってまいります。また、前連結会計年度において当社の非連結子会社でありましたNEXT株式会社につきまして、重要性が増したため、当第1四半期連結累計期間より連結の範囲に含めております。

この結果、当社グループの売上高は、年度末の3月に集中する傾向にある中で、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高4億2百万円（前年同期比29.5%増）、営業損失1億33百万円（前年同期59百万円の営業損失）、経常損失1億35百万円（前年同期60百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失1億37百万円（前年同期68百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### <コンサルティング事業>

コンサルティング事業におきましては、平成28年1月から運用が始まるマイナンバー制度対応の受注拡大を目指し、当社のコンサルティング力を発揮できるよう、業務提携、各種セミナーの開催、広告等による販売促進を実施しました。また、お客様の業務を継続的に改善する新しいソリューション「r.a.k.u.」を提供し、顧客のニーズに的確に応え、営業展開を図ってまいりました。これらの関連業務における引き合い状況や受注状況は順調に推移しております。

さらに、コンサルティング・サービスの質的向上を目指した優秀な人材の確保に努めるとともに、中央官庁、地方自治体、独立行政法人等の公共機関や民間企業に対して積極的な営業活動も展開してまいりました。

この結果、売上高は、79百万円（前年同期比32.6%増）、セグメント損失は、96百万円（前年同期72百万円のセグメント損失）となりました。

#### <システム開発事業>

システム開発事業におきましては、受託開発の受注が堅調に推移し、新たに連結の範囲に含めた子会社の売上高も寄与しましたが、開発人員増強に伴う一時的な外注費・人件費などのコストが増加したため、前年同期に比べ増収減益となりました。

この結果、売上高は、3億22百万円（前年同期比28.8%増）、セグメント損失は、25百万円（前年同期26百万円のセグメント利益）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は7億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億29百万円減少しました。これは主に、現金及び預金は2億40百万円、仕掛品も54百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が5億9百万円減少したことによるものであります。固定資産は2億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ33百万円減少しました。これは主に、のれんが24百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は10億22百万円となり前連結会計年度末に比べ2億62百万円減少しました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は6億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億50百万円減少しました。これは主に、買掛金が80百万円、短期借入金が47百万円減少したことによるものであります。固定負債は1億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ36百万円増加しました。これは主に、長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債は7億27百万円となり前連結会計年度末に比べ1億13百万円減少しました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は2億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億49百万円減少しました。これは利益剰余金が1億49百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は28.8%（前連結会計年度末は34.6%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点において平成27年5月15日の「平成27年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## (会計方針の変更)

## (企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び  
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)  
等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(3)、連結会計基準第44-5項(3)及び事業分離等会計基準第57-4項(3)に定める経過的な取扱いに従っており、過去の期間のすべてに新たな会計方針を遡及適用した場合の当第1四半期連結会計期間の期首時点の累積的影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首において、のれんが9百万円減少するとともに、利益剰余金が9百万円減少しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業損失及び経常損失はそれぞれ4百万円、税金等調整前四半期純損失は2百万円増加しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	184,489	425,026
受取手形及び売掛金	737,431	228,111
商品	9,397	479
仕掛品	19,419	73,864
貯蔵品	213	384
繰延税金資産	5,274	3,227
その他	15,737	16,890
貸倒引当金	△1,359	△6,453
流動資産合計	970,603	741,532
固定資産		
有形固定資産	20,876	21,020
無形固定資産		
のれん	157,077	132,839
その他	9,549	15,219
無形固定資産合計	166,627	148,058
投資その他の資産	127,478	112,006
固定資産合計	314,982	281,085
資産合計	1,285,586	1,022,617
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	146,514	66,394
短期借入金	386,691	339,191
1年内返済予定の長期借入金	29,280	38,952
未払法人税等	27,795	3,106
賞与引当金	17,837	11,289
役員賞与引当金	660	170
その他	151,321	150,832
流動負債合計	760,101	609,936
固定負債		
長期借入金	67,060	100,852
その他	14,097	17,030
固定負債合計	81,157	117,882
負債合計	841,259	727,819
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	883,708	883,708
資本剰余金	153,638	153,638
利益剰余金	△593,096	△742,736
自己株式	△15	△15
株主資本合計	444,234	294,594
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	93	204
その他の包括利益累計額合計	93	204
純資産合計	444,327	294,798
負債純資産合計	1,285,586	1,022,617

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	310,584	402,274
売上原価	200,604	301,413
売上総利益	109,979	100,861
販売費及び一般管理費	169,315	234,851
営業損失(△)	△59,335	△133,990
営業外収益		
業務受託手数料	270	270
消費税差額金	147	-
その他	89	369
営業外収益合計	507	639
営業外費用		
支払利息	1,277	1,921
その他	345	145
営業外費用合計	1,623	2,066
経常損失(△)	△60,451	△135,417
特別利益		
負ののれん発生益	-	1,903
特別利益合計	-	1,903
税金等調整前四半期純損失(△)	△60,451	△133,513
法人税、住民税及び事業税	8,356	2,708
法人税等調整額	-	1,528
法人税等合計	8,356	4,236
四半期純損失(△)	△68,808	△137,750
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△31	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△68,776	△137,750

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純損失(△)	△68,808	△137,750
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	111
その他の包括利益合計	-	111
四半期包括利益	△68,808	△137,639
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△68,776	△137,639
非支配株主に係る四半期包括利益	△31	-



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンサルティング 事業	システム開発 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	59,837	250,747	310,584	—	310,584
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,170	1,170	△1,170	—
計	59,837	251,917	311,754	△1,170	310,584
セグメント利益又は損失(△)	△72,149	26,165	△45,984	△13,351	△59,335

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△13,351千円には、のれんの償却額△14,851千円、セグメント間取引消去1,500千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンサルティング 事業	システム開発 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	79,321	322,953	402,274	—	402,274
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3,002	3,002	△3,002	—
計	79,321	325,955	405,276	△3,002	402,274
セグメント損失(△)	△96,023	△25,630	△121,653	△12,336	△133,990

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△12,336千円には、のれんの償却額△15,034千円、セグメント間取引消去2,697千円が含まれております。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間より「企業結合に関する会計基準」等を適用しております。この適用に伴い、従来の方法によった場合と比べ、当第1四半期連結会計期間の期首時点において、のれんが9,203千円減少しております。なお、のれんについては、報告セグメントに配分しておりません。